

記入例 (様式1)  
【建築物の建築】

窓口受付時に記入

年 月 日

小平市長 殿

申請者 住所 東京都小平市小川町二丁目1333番

氏名 小平 太郎

電話番号 〇〇-〇〇-〇〇

(法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名及び電話番号)

代理人氏名及び連絡先 株△〇ホーム 小平ぶるべー  
東京都小平市小川町〇丁目〇番〇  
電話 〇〇-〇〇-〇〇

代理人が申請する場合に記入

風致地区名称を記入

風致地区内行為許可申請書  
(建築物の建築の場合)

(例)青梅街道 風致地区内における行為の許可を受けたいので、小平市風致地区条例第3条第1項の規定により、下記のとおり関係図書を添えて申請します。

記

- 1 行為の場所 (地名地番) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇  
(住居表示) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇号

- 2 建築物の建築の内容 未定の場合は記入不要

種別	新築・改築・増築・移転	敷地面積	150.00 m <sup>2</sup>
構造	木造	建築面積	50.00 m <sup>2</sup>
階数	地上 2 階・地下 0 階	建物用途	一戸建ての住宅

壁面後退距離	方向	距離		方向	距離
道路側	北	2.488 m		西	2.600 m
		m			m
隣地側	南	1.580 m		南東	1.655 m
	東	2.553 m			m
高さ		8.552 m	建ぺい率		33.33 %

- 3 工事着手予定日 令和〇〇年 〇月 〇日  
4 工事完了予定日 令和〇〇年 〇月 〇日  
5 施工者の住所、氏名及び電話番号

東京都小平市小川町〇丁目〇〇  
株□×建設 代表取締役 小平花子  
電話 〇〇-〇〇-〇〇

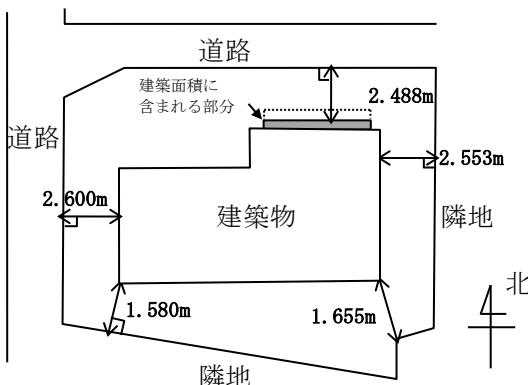
施工者が未定の場合は「未定」と記入

端数処理について

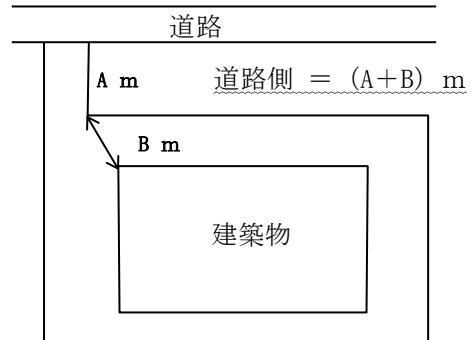
- 面積：小数点以下2位まで有効とし、3位以下切捨
- 建ぺい率：小数点以下2位まで有効とし、3位以下切捨
- 距離、高さ：小数点以下3位まで有効とし、4位以下切捨

【参考】壁面後退距離の取扱い

壁面後退距離は有効寸法（建物の外壁面から敷地境界線までの距離）で最短のものを、各方向記入してください。なお、庇・バルコニー等で建築面積に算入される部分がある場合は、その算入部分端から敷地境界線までを壁面後退距離とします。



※旗竿状敷地の場合（道路側壁面後退距



# 記入例 (様式1)

## 【 建築物の建築 】

(風致地区の内外にまたがる場合)

窓口受付時に記入

年 月 日

小平市長 殿

申請者 住所 東京都小平市小川町二丁目1333番

氏名 小平 太郎

電話番号 〇〇-〇〇-〇〇

(法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名及び電話番号)

 代理人氏名及び連絡先 株△〇ホーム 小平ぶるべー  
 東京都小平市小川町〇丁目〇番〇  
 電話 〇〇-〇〇-〇〇

風致地区名称を記入

 風致地区内行為許可申請書  
 (建築物の建築の場合)

代理人が申請する場合に記入

(例)青梅街道 風致地区内における行為の許可を受けたいので、小平市風致地区条例第3条第1項の規定により、下記のとおり関係図書を添えて申請します。

記

- 1 行為の場所 (地名地番) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇  
 (住居表示) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇号

- 2 建築物の建築の内容

未定の場合は記入不要

風致内と全体を分けて記入

種別	新築・改築・増築・移転	敷地面積	風致内 80.00㎡ 全体(150.00㎡)
構造	木造	建築面積	風致内 30.00㎡ 全体(58.55㎡)
階数	地上 2 階・地下 0 階	建物用途	一戸建ての住宅

壁面後退距離		方向		距離	
		北	西	東	南
道路側	北	2.488 m	2.600 m		
	西				
隣地側	東	2.400 m			
	南				
高さ		8.552 m	建ぺい率	風致内 37.50% 全体(39.03%)	

- 3 工事着手予定日 令和〇〇年 〇月 〇日  
 4 工事完了予定日 令和〇〇年 〇月 〇日  
 5 施工者の住所、氏名及び電話番号

着手予定日は申請日より3週間以降の日付を記入

 東京都小平市小川町〇丁目〇〇  
 株□×建設 代表取締役 小平花子  
 電話 〇〇-〇〇-〇〇

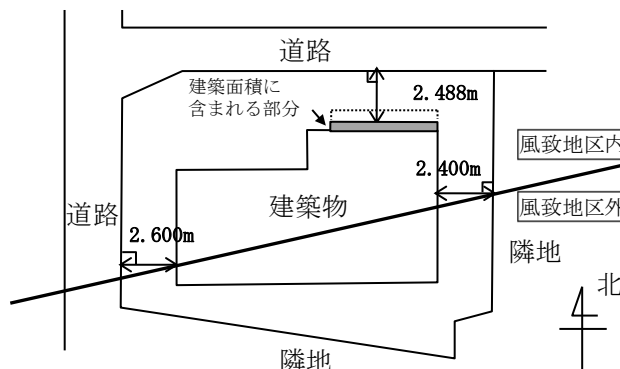
 施工者が未定の場合は  
 「未定」と記入

## 端数処理について

- 面積：小数点以下2位まで有効とし、3位以下切捨
- 建ぺい率：小数点以下2位まで有効とし、3位以下切捨
- 距離、高さ：小数点以下3位まで有効とし、4位以下切捨

## 【参考】壁面後退距離の取扱い (風致地区の内外にまたがる場合)

壁面後退距離は有効寸法(建物の外壁面から敷地境界線までの距離)で最短のものを、各方向記入してください。なお、庇・バルコニー等で建築面積に算入される部分がある場合は、その算入部分端から敷地境界線までを壁面後退距離とします。



**記入例 (様式1)**  
**【 工作物の建設 】**  
**(店舗看板の設置)**

窓口受付時に記入

年 月 日

小平市長 殿

申請者 住 所 東京都小平市小川町二丁目1333番

氏 名 小平 太郎

電話番号 〇〇-〇〇-〇〇

(法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名及び電話番号)

代理人氏名及び連絡先 (株)△〇ホーム 小平ぶるべー  
 東京都小平市小川町〇丁目〇番〇  
 電話 〇〇-〇〇-〇〇

代理人が申請する場合に記入

風致地区名称を記入

風致地区内行為許可申請書  
 (建築物の建築以外の場合)

(例)青梅街道 風致地区内における行為の許可を受けたいので、小平市風致地区条例第3条第1項の規定により、下記のとおり関係図書を添えて申請します。

記

- 1 行為の場所 (地名地番) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇  
 (住居表示) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇号

小数点以下2位まで有効とし、3位以下切捨て

- 2 建築物の建築以外の行為の内容

未定の場合は記入不要

施工区域面積			3.95 m <sup>2</sup>
施工理由	(例) 店舗看板設置のため	工作物の名称、数量、規模及び形態 (高さ、面積等)を記入	

工作物の建設	規模及び形態	ポール看板 1基 高さ10.000m 表示面積 8.00m <sup>2</sup> 壁面看板 1基 高さ3.500m 表示面積 10.00m <sup>2</sup>			
宅地の造成等	盛土面積	m <sup>2</sup>	盛土量	m <sup>3</sup>	
	切土面積	m <sup>2</sup>	切土量	m <sup>3</sup>	
木竹の伐採	既存本数	本	伐採本数	本	移植本数
その他の行為	色彩の変更 ・ 水面の埋立て ・ 土石の類の採取 ・ 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積				

- 3 工事着手予定日 令和〇〇年 〇月 〇日  
 4 工事完了予定日 令和〇〇年 〇月 〇日

着手予定日は申請日より3週間以降の日付を記入

- 5 施工者の住所、氏名及び電話番号

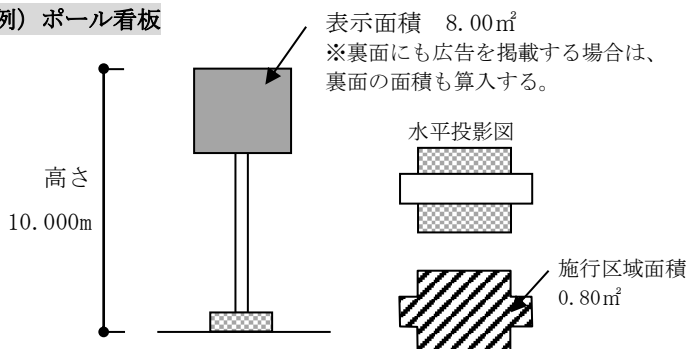
東京都小平市小川町〇丁目〇〇  
 (株)□×建設 代表取締役 小平花子  
 電話 〇〇-〇〇-〇〇

施工者が未定の場合は「未定」と記入

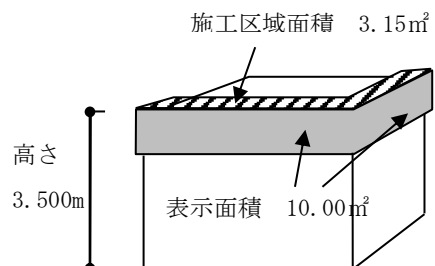
**【参考】施工区域面積と表示面積について**

- 施工区域面積 ⇒工作物の水平投影面積
- 表示面積 ⇒広告等を掲載する面の合計面積

例) ポール看板



例) 壁面看板



# 記入例 (様式1) 【 木竹の伐採 】

窓口受付時に記入

年 月 日

小平市長 殿

申請者 住所 東京都小平市小川町二丁目1333番  
氏名 小平 太郎  
電話番号 〇〇-〇〇-〇〇

(法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名及び電話番号)

代理人氏名及び連絡先 株△〇ホーム 小平ぶるべー  
東京都小平市小川町〇丁目〇番〇  
電話 〇〇-〇〇-〇〇

代理人が申請する場合に記入

風致地区名称を記入

風致地区内行為許可申請書  
(建築物の建築以外の場合)

(例)青梅街道 風致地区内における行為の許可を受けたいので、小平市風致地区条例第3条第1項の規定により、下記のとおり関係図書を添えて申請します。

記

- 1 行為の場所 (地名地番) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇  
(住居表示) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇号
- 2 建築物の建築以外の行為の内容 未定の場合は記入不要 木竹の伐採面積を記入

施工区域面積	53.50 m <sup>2</sup>
施工理由	(例) 建築計画の支障となるため

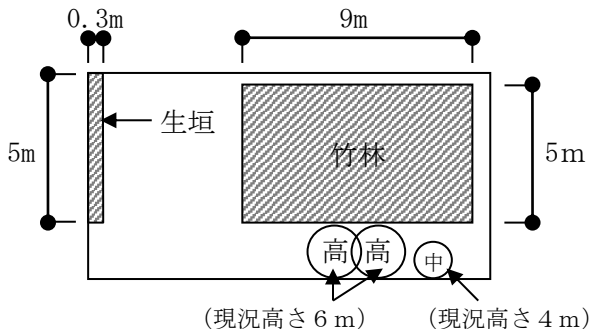
伐採する理由を記入

工作物の建設	規模及び形態				
宅地の造成等	盛土面積		m <sup>2</sup>	盛土量	m <sup>3</sup>
	切土面積		m <sup>2</sup>	切土量	m <sup>3</sup>
木竹の伐採	既存本数	樹木 3本	伐採本数	樹木 3本	移植本数
		竹林 45.00m <sup>2</sup>		竹林 45.00m <sup>2</sup>	
その他の行為	生垣 1.50m <sup>2</sup>	色彩の変更 ・ 水面の埋立て ・ 土石の類の採取 ・ 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積			

- 3 工事着手予定日 令和〇〇年 〇月 〇日 着手予定日は申請日より3週間以降の日付を記入
- 4 工事完了予定日 令和〇〇年 〇月 〇日
- 5 施工者の住所、氏名及び電話番号

東京都小平市小川町〇丁目〇〇  
株□×建設 代表取締役 小平花子 施行者が未定の場合は「未定」と記入  
電話 〇〇-〇〇-〇〇

## 【参考】伐採面積の算定方法について



◆ 樹木：現況高さにより分類し換算する。

現況高さ	分類	換算面積
5m超	高木	3.0m <sup>2</sup>
3m超～5m以下	中木	1.0m <sup>2</sup>
上記以外	低木	樹冠投影面積 又は0.6m <sup>2</sup>

◆ 竹林、生垣：区域面積を算定する。

※生垣は、幅を0.6mとして算定しても良い。

**伐採面積** = 高木3.0m<sup>2</sup>×2本+中木1.0m<sup>2</sup>×1本+竹林(9m×5m)+生垣(0.3m×5m)  
= 6.00+1.00+45.00+1.50 = 53.50m<sup>2</sup>

記入例 (様式1)  
【 色彩の変更 】

窓口受付時に記入  
年 月 日

小平市長 殿

申請者 住所 東京都小平市小川町二丁目1333番  
氏名 小平 太郎  
電話番号 〇〇-〇〇-〇〇

(法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名及び電話番号)

代理人氏名及び連絡先 (株)△〇ホーム 小平ぶるべー  
東京都小平市小川町〇丁目〇番〇  
電話 〇〇-〇〇-〇〇

風致地区名称を記入

風致地区内行為許可申請書  
(建築物の建築以外の場合)

代理人が申請する場合に記入

(例)青梅街道 風致地区内における行為の許可を受けたいので、小平市風致地区条例第3条第1項の規定により、下記のとおり関係図書を添えて申請します。

記

- 1 行為の場所 (地名地番) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇  
(住居表示) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇号

- 2 建築物の建築以外の行為の内容

施工区域面積		記載不要	m <sup>2</sup>
施工理由	(例) 塗膜の劣化のため、(例) 屋根材、外壁材の劣化の為		

理由を記入

工作物の建設	規模及び形態					
宅地の造成等	盛土面積	m <sup>2</sup>	盛土量	m <sup>3</sup>		
	切土面積	m <sup>2</sup>	切土量	m <sup>3</sup>		
木竹の伐採	既存本数	本	伐採本数	本	移植本数	本
その他の行為	色彩の変更 ・ 水面の埋立て ・ 土石の類の採取 ・ 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積					

- 3 工事着手予定日 令和〇〇年 〇月 〇日  
4 工事完了予定日 令和〇〇年 〇月 〇日  
着手予定日は申請日より3週間以降の日付を記入

- 5 施工者の住所、氏名及び電話番号

東京都小平市小川町〇丁目〇〇  
(株)×建設 代表取締役 小平花子  
電話 〇〇-〇〇-〇〇

【参考】色彩の制限について

[審査基準]

・ 色彩は、原色及び蛍光色を避け、周囲の風貌に配慮して調和的な色彩にして下さい。

許可となる色: 白系、グレー系、ベージュ系、黒系、茶系など

マンセル値の確認を要する色: 赤系、青系、黄色系、緑系など (東京都景観色彩ガイドライン 緑地系景観基本軸の色彩基準を満たすものであれば許可となります)